

## 聖書研究

## 第五課 信仰—それはなんですか？

私たちは、どのようにして、神と知り合いになるのでしょうか？私たちは、だれか他の人との同じ方法で、知り合いになるのです。だれかと知り合いになるには、三つのことが必要です。第一は、彼らと話す。第二は、彼らの言うことを聞く。そして第三は、一緒にどこかに行き、何かをする。それらは、伝達の要因です。しかし、私は、どのように神がいることを知るのでしょうか？

私たちは、見るができない多くの物を私たちは利用しています。あなたが電気を見てから、どのくらいたちますか？ あなたは風を見ることができません。私たちは「命」と呼ばれる、この不思議なものを、見ることができません。しかし、私たちは上記のすべての結果は見ることができます。

たとえ、私たちが、私たちの人間の持っている器機で、神を見たり、その声を聞いたりできないとしても、それでも、神の力が働いていることを知ることができます。そして、コミュニケーションの方法を利用することによって、私たちは彼を知るようになることができます。私たちは、神を知ることによって神を信頼することを学ぶのです。

### 1. 信仰を経験することは、どれほど重要でしょうか？ヘブル 11 : 6 ; ヘブル 10 : 38

---

### 2. 信仰に関して、どんな誤解がなされますか？ルカ 17 : 5, 6

---

注：信仰は、どれくらいかと量で計られません。もしそれが本当の信仰なら、小さな信仰であっても、不可能を成し遂げるのです。

### 3. 本当の信仰とはなんですか？マタイ 15 : 21-8

---

注：この異邦人の女は、大きな信仰を持っていました、しかしイエスは、あえて無視し、拒絶し、彼女を侮辱さえされました。しかし、彼女は彼を頼り続けました。信仰の最上の定義は、信頼です。それは、もうひとりの人に頼ることです！

ナイヤガラを渡っていた、綱渡りの芸人がいました。彼の大胆さに魅了された群衆の心をつかんだ後、彼は尋ねました、「あなたがたの中で、どれくらいの方が、わたしが、今度は、誰かがのっている手押し1輪車を押して、もう一度、張り綱を渡ることができると思いますか？」群衆は、拍手かっさいをしました。彼らは、彼がそれができることを確信していたのです。しかし、それから彼は言いました、「その1輪車に乗ることを、だれが引き受けてくれますか？」深い沈黙がありました。観客は、まさに単なる信じることと信頼の間の非常に重要な違いに気づかされました。1輪車を安全に、広くて深い深い淵を渡らせることを信じることと、あなたの命をその綱の上に置くことは、まったく別の事です。それが本当の信仰というものです！

4. 私たちは、だれかを信頼することを、どのように学ぶのでしょうか？Ⅱテモテ 1 : 12

---

5. 私たちは、どのようにして神と知り合いになるのでしょうか？

a. 聞くことによって—ローマ 10 : 17 ; ヨハネ 20 : 31 \_\_\_\_\_

b. 話すことによって—ピリピ 4 : 6 ; ルカ 11 : 9-13 \_\_\_\_\_

c. 共に働くこと—マタイ 11 : 29 \_\_\_\_\_

6. 信仰とは、私たちが自分で努力して作り出すようなものですか？ローマ 12 : 3 ;  
ヘブル 12 : 2

---

注：信仰は神からの贈物です。それは、私たちが、イエスと共に時を過ごすとき、さらに本物になります。

7. 神の御心を確かなものにするために、神はどのように私たちを助けますか？  
イザヤ 30 : 21

---

注：神はわたしたちを、彼の御心に導くことを、約束しています。

**神が彼の御心をわたしたちに示される三つの方法があります。**

A. **彼のみ言葉によって** 詩編 119 : 105 ; ヨシュア 1 : 8

注：聖書は、与えられたどんな主題に関しても、神の御心を見出すための、非常に確かな源です。財源、育児、または、たくさんの道徳の問題に関して、多くの知恵を得ることができます。もしあなたが問題に対する指導を必要とするならば、まず第一に聖書のガイドを見ることです。

B. **摂理または状況（出来事）によって** 箴言 3 : 5, 6 ; 詩編 37 : 23

注：私たちに、神はしばしば、彼の御心をあらわすために、いろいろな状況に置かれます。私たちが、仕事または住宅のような、人生の決断に関して祈っている時、私たちは門戸が開かれるか閉じるかを見る必要があります。

C. **心に直接伝えることがある。** 使徒 8 : 26 - 40

注：時々、聖霊はあなたの心に、あなたに対する彼の御心を印象づけます。しばしば、わたしたちが十分理解していない、ある事柄に関して、非常にはっきりと主に祈ることは、助けになります。

す。例えば、もし、しかじかの事があなたの御心ならば、わたしに強く印象づけることを祈るのです。しかし、もしこれがあなたの御心でないならば、あなたがこの考えをわたしから取り除いて下さいと祈るのです。

一つの実例ですが、提供された仕事の機会についてある人が祈ったとします。彼は、もし、この仕事の機会が、神の御心であったならば、彼の興奮が、ますます強くなり続けるようにと祈ります。そしてもしこれが神の御心でなかったならば、その考えを取り除かれるでしょう。

その祈りが述べられるや否や、その人は、その会社の名前すら思い出すことができませんでした。彼は、それは、彼のための神の御心ではなかったことを、すぐに知りました。6か月後に、その会社はつぶれました!! 神は、初めから終わりまで知っています! 神の御心のまさに中心にいることによって、私たちは、私たちの人生に、平和を持つのです。

## 8. わたしたちの人生に神が働くためには、わたしたちに信仰が必要ですか？

マタイ 9 : 22, 28, 29

注：信仰は、私たちの人生に、聖霊が神の力を届ける手段です。信仰が無くては、神が、彼のゆるしと改変を与えることが出来ないのです。「いやされたと感じるまで待つてはなりません。そして『信じます。いやされています。私がそう感じるからではなく、神がこれを約束したもうたからです』と言いましょう」。(キリストへの道 p. 65, 66)

## 9. 神があなたの人生に働くことが出来るように、神に求める信仰を持っていなかったら、どうなるでしょうか？マルコ 9 : 20-27

注：信仰は、結局神から来るのだから、私たちの必要とする信仰を、ただ神に求めなければなりません。神が私たちの出来ない所に私たちを置かれることは決してないでしょう。「主よ、私は信じます、私の不信仰をお助け下さい」。私たちが彼を必要とするどんな時でも、神は忠実に私たちを助けてくださいます。

**結論：霊的な約束（許し、聖霊、等のための）は、いつでも与えられます。しかし、世的な祝福、生活の祝福のための約束は、神の御心が最善と見なされる時には与えられ、また差し控えられたりします。**

物事が、私たちの望む方向に発展しない時にさえ、信仰はなおも神に信頼します。人生が円滑に進んでいる時、神に信頼するのはやさしいです。私たちの祈り答えられないと思われる時、信仰の本当のテストがやって来ます。

真理は、私たちの義によるのでもなく、信仰によって作り出すものではありません。両方とも賜物です。両方とも、イエスを知ることの結果として来るのです。そして、イエスを知るとは、祈りと神との深い交わりに時間を使う結果として来るのです。もし、私たちが神のもとに来るならば、神は、私たちが必要とする本当の信仰を、私たちに与えてくださるでし

よう。

## 第五課の答えとなる鍵

質問 1. 非常に重要な、または決定的です。

質問 2. それは、どれくらいではなく、それは本物であるかということです。

質問 3. 信頼。

質問 4. 彼らと知ることによってです。

質問 5. a. 神のみ言葉を読むことによって。  
b. 神に祈ることによって。  
c. 聖霊と協力することによって。

質問 6. いいえ。

質問 7. 彼は、私たちが導くことを約束している。

質問 8. はい。

質問 9. あなたは、その為に、ただ神にだけ求めなければならない。